

ひがし

No. 256

57 3/20

広報

しらかわ

人口の動き

—2月末住民登録人口から

世帯数	936
人口	3,739
転入	9
転出	7
出生	3
死亡	3

先月と比較して2人増
昨年同月と比較して36人減

■発行 東白川村役場 ■編集 東白川村役場総務課 ■住所 〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
 ■☎(057478) 3111・内線34 ■印刷 関市・中部印刷



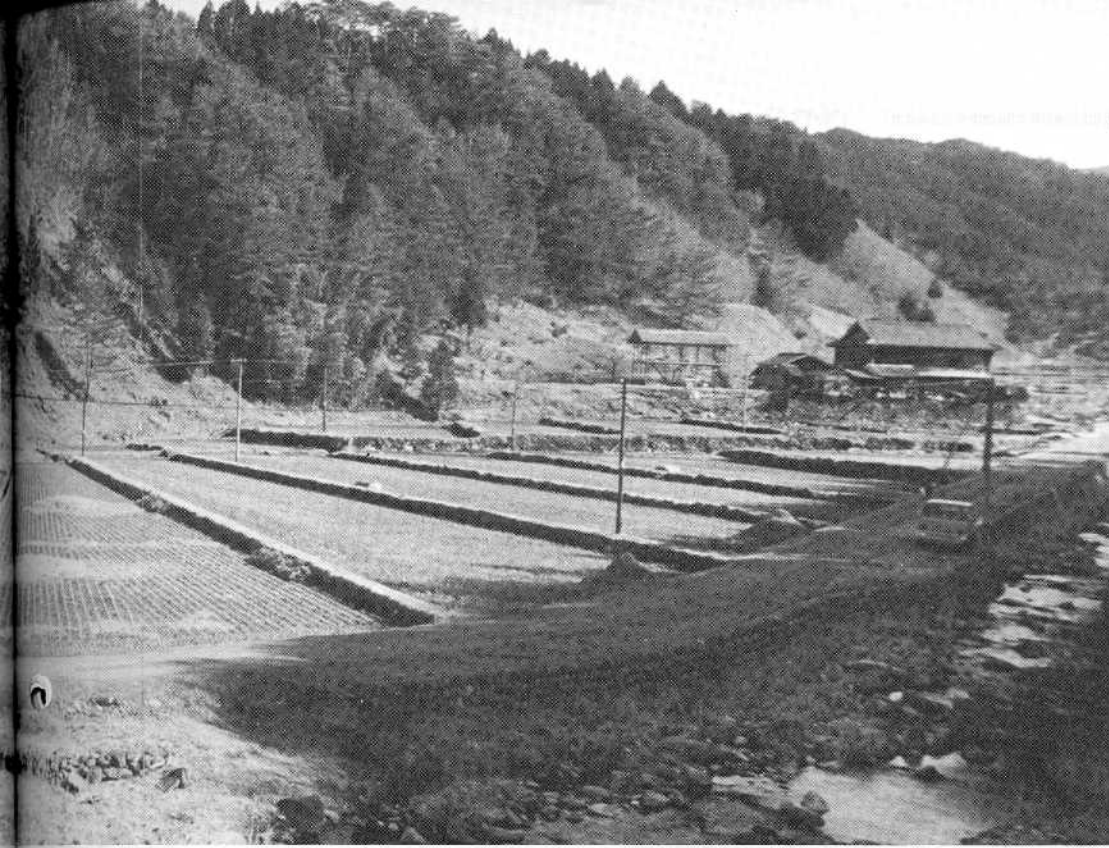
独居老人
を励まそう

3月10日、独り暮らしのお年寄りを励ます会が村民センターでおこなわれました。会では駐在所の佐橋巡査部長が昨年撮影された老人まつりや郷土歌舞伎のビデオが上映され、集まった独居老人の目を楽しませました。そのあとの会食では食生活改善推進協議会員らの手づくりの料理を囲んで、村長をはじめ同協議会員、婦人民生委員、ホームヘルパー、役場女子職員ら関係者がお年寄りと懇談しました。

—写真は婦人の部屋での会食風景

おもな内容

- 57年度のは場整備事業 P 2~3
- 完成した日向平地区は場整備事業 P 4~5
- ことしもお元気で... P 6~7
- 春の全国交通安全運動... P 8
- この人 P 9
- みんなの作品 P 10
- 村誌編さん室だより P 11
- トピック P 12
- けいじ板は P 6~7 の下欄



住みよい村づくりのため

ほ場整備 57年度は大明神を実施

モデル実施の日向平地区は完成

住みよい村づくりを目指すほ場整備事業は、昭和五

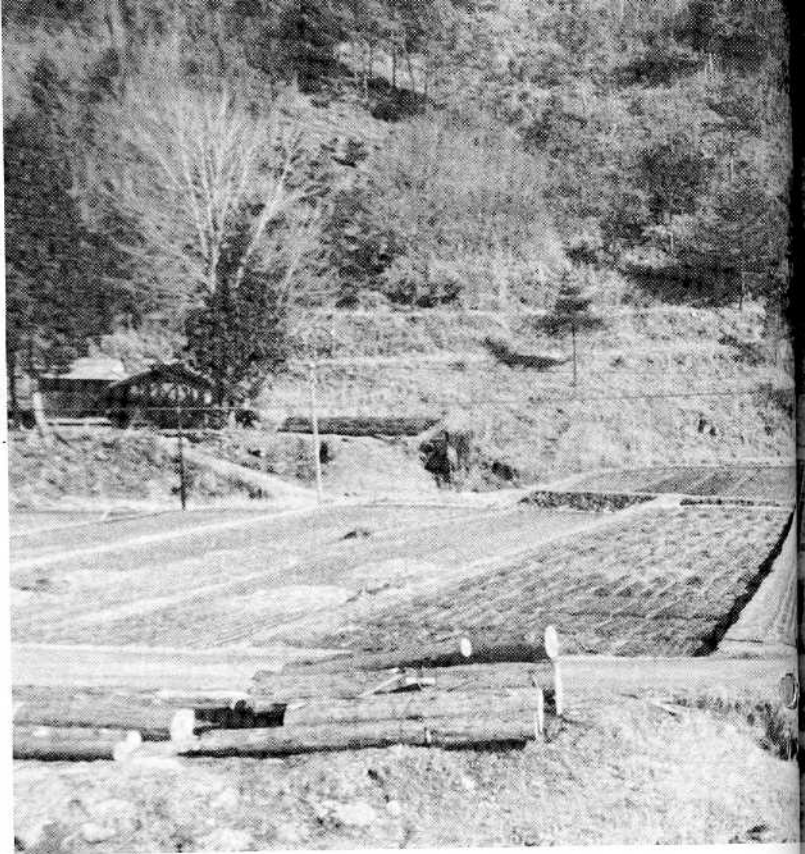
十七年度から本格的な実施を迎えます。本村での同事業の実施は、県営畑地帯総合土地改良事業（県営畑総）という制度事業によるもので、さし当たり五十七年度は大明神地内でおこなわれることになりました。この理由は、地元の受け入れ態勢が整っていることと、調査計画の段階で作成した現況測量が利用できることなどです。

一方、モデル的におこなった日向平地区は、この二月末で完成し一年ぶりに米や野菜類などの生産ができることとなり、その成果と土地の有効利用が注目されています。

混迷する農業から脱皮を

ほ場整備事業の実施は昨年打ち出した「村づくり総合計画」に基づくもので、本村の立地条件や村民所得の向上などを目標に、新たな農業時代の到来と定住農村づくりを目指して踏み切った大事業です。

先祖伝来の土地基盤を一変しようとするこの事業には、数多くの抵抗や個々のおもわくなどもからんできますが、年々厳しさを増す米の生産調整など、混迷する農業から脱皮するためにぜひとも必要な事業です。



五十七年度にほ場整備事業が実施されることになった大明神地区の現況

事業の推進にあたっては、個々の利益や目先のことだけにとらわれない、村の将来に焦点を絞った考え方で望まなければ実現は不可能です。幸い、本村では実施段階を迎えるにつれて各地区の関心が高く、事業への同意も全地区そろいました。現在同意者名簿を整理しており、まとまりしだい県に対して申請することになっています。

着工は八月ころ

着工が決定した大明神地区では、その後何度も何度も話し合いがおこなわれ、同地区内の六班から五班にかけて実施される予定ですが、実施面積は国の予算がまだ不明のため未定です。現在大急ぎで準備が進められ

畑総の総事業費は約51億

こうして県営畑総事業による本格的な事業が大明神地区を皮切りにスタートすることになりましたが、この県営畑総とはどのような制度なのか、簡単に説明してみましょう。

この制度は、文字どおり畑地を中心にその振興を図る目的で農道や排水路などの基幹事業と併せておこなう区画整理などの土地改良事業を一体的に実施するというものです。

条件として、基幹事業の受益面積が百 $\frac{1}{10}$ 以上、うち畑地面積が五〇%を上回ること——となっています。

本村のほぼ全域がこの条件に適合し、実施段階を迎えることになりましたが、全体で基幹事業の受益面積は三百八十四 $\frac{1}{10}$ 、併せておこなう事業の受益面積は三百二十七 $\frac{1}{10}$ 、その事業費は

ていますが、着工は八月ころになる見込みです。

同地区はこれまで、米の生産調整による減反に対処して、夏秋野菜への転作を積極的に進めてきており、生産基盤が整備されることにより、さらにそのワクが広がっていくことと期待が寄せられます。

およそ五十一億三千万円にもほります。この数字は、財政規模の小さな本村では短期間に完了させることは無理です。

ちなみに五十六年度の農林水産業関係予算は約三億二千七百万円ですから、すべてをこの事業に充てたとしても十六年分に相当する値です。

もちろん国や県の補助があり、また、補助なくしては実現できない大がかりな事業ですが、金額だけでもその規模がいかに大きいかわかります。

ところで、五十七年度実施は大明神地区内に決まりましたが、五十八年度着工地区を引き続き決定しなければなりません。じゅうぶんな準備体制をとるため、ことしの秋ごろまでに前もって決定する必要があります。

そのためには、まず組内の受

け入れ態勢の確立が第一条件ですが、実施の面積や着工可能工区の数などは、今回と同じように年度末近くに決定されます。

その意味で、決定されたいつでも受け入れられるという態勢を残る地区すべてがつくれるかどうか大きな課題となっています。

なお、日向地区においては五十六年度に引き続き、第三期山村振興事業と県単土地改良事業によって、五十七年度に二地区七・一 $\frac{1}{10}$ のほ場整備事業が実施される予定で同年度末には整備済面積が約十四 $\frac{1}{10}$ となり、進捗率一〇%程度になる見込みです。今後は整備されたほ場を有効に利用して、新しい農業経営を実現するという一番大切な段階を迎えることとなり、村では農協と協力してその検討を進めています。

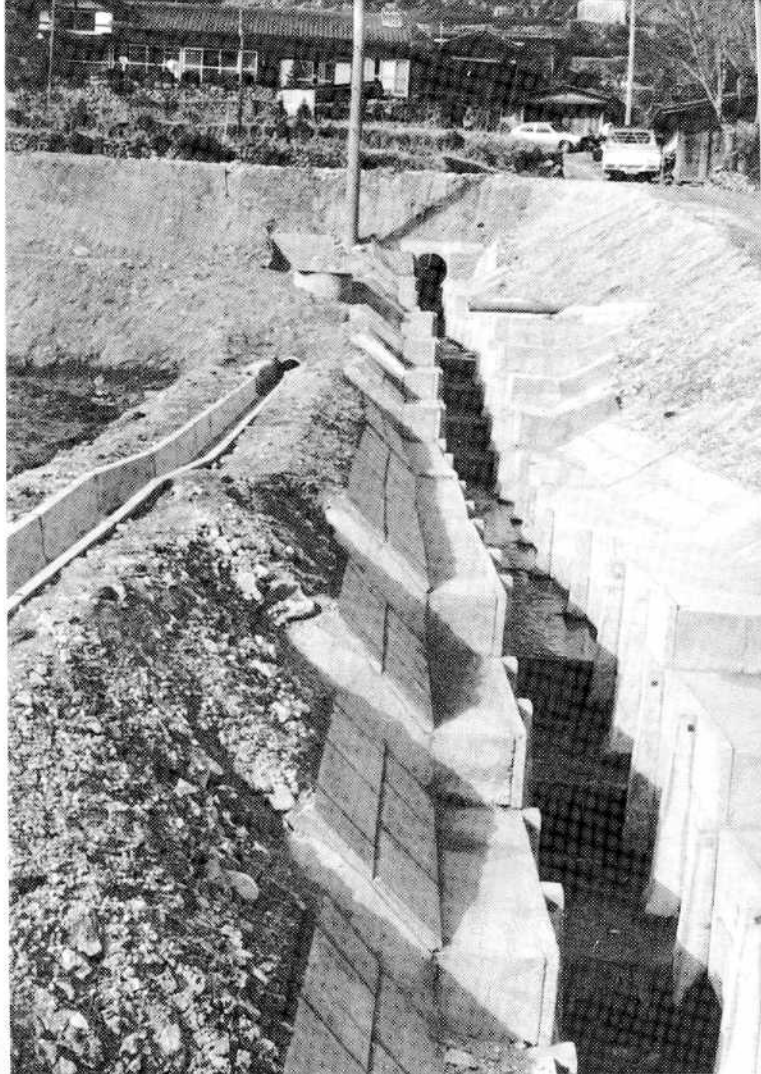
ほ場整備事業については、今後工事の進みぐあいと合わせて随時紹介する予定です。

ほ場整備事業に対するご意見がありましたら、役場の総務課広報担当係へお寄せください。また、詳しいことは産業振興課土地改良係（有線2147）へおたずねください。

生まれ変わった

日向平地区

村づくり総合計画の実施を前に、昨年9月日向平地区をモデルとしてほ場整備事業がスタートし、2月末で完成しました。同地区の事業内容は、広報245号と250号で紹介しましたが、ここで完成した同地区を写真で紹介します。



整備された用排水路 — 第1工区で

新設された農道

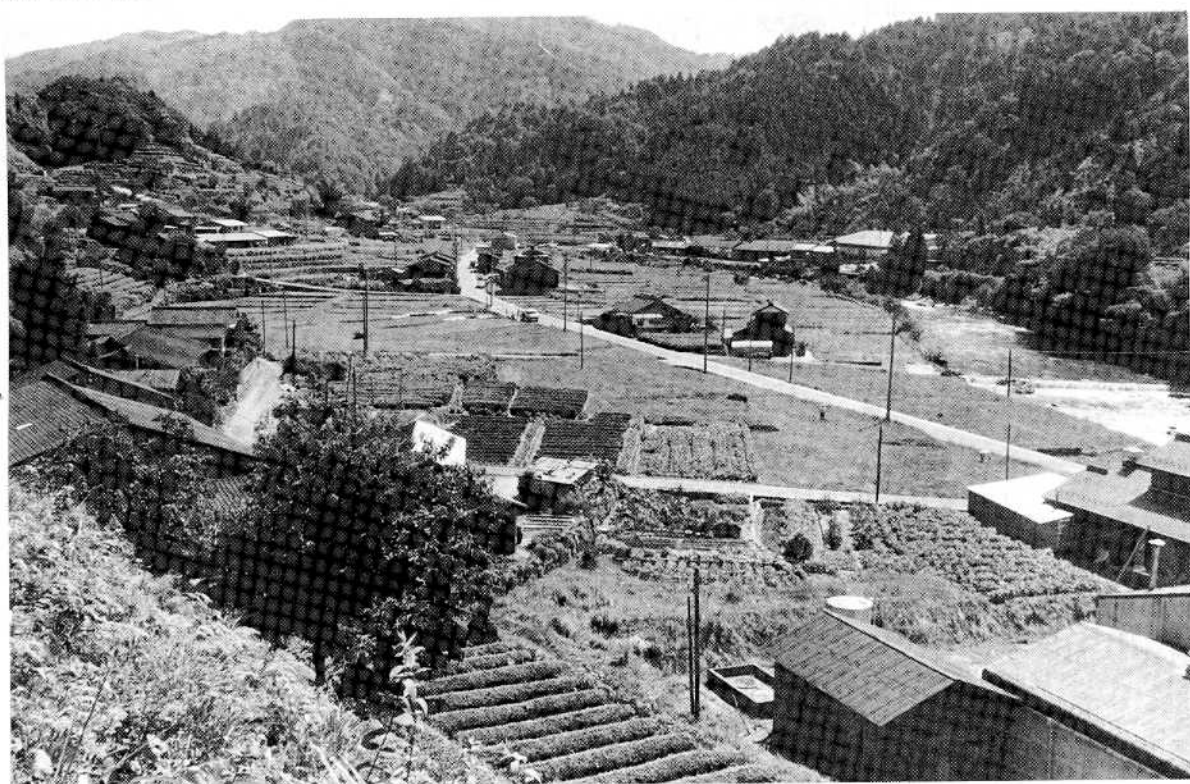
— 第1工区で



高低差の大きい第2工区は、このようになりました



完成した日向平地区第1工区の中心部。下の写真は着工前に撮影したものです



本村の保健事業の目玉ともいえる成人病予防検診（昨年・村民センターで）



ことしもお元気で

各種検診など健康事業計画書でみる

幸せな家庭づくりの第一歩は何といっても健康です。でも健康はだれが作ってくれるものでもなく、自分自身で守っていくものです。村では、みなさんの健康づくりのお手伝いとして、各種の検診や健康相談など活発に進めています。これらの場をより多くのかたに有効に利用していただきたいものです。本号では、昭和五十七年度の健康事業計画書のあらましを紹介してみましよう。

若いころからの成人病予防

健康確認は検診で

高血圧予防は、二十歳代、三十歳代の若いうちから健康に気をつけていることが大切です。食生活では、何でも取り入れバランスのよい食事をすること、また、塩分を取り過ぎない、さらには規則正しい生活を送る心がけが大切なことです。また、村では毎年成人病検診をおこなっています。この場を

有効に利用し、健康を確認しておくことも必要なことでしよう。さらに冬期は寒さのために血圧が上がりがやすく、平常から血圧の高い人にとっては要注意の時期です。このため昨年から冬期の健康相談と題して、血圧測定と健康相談をおこなっています。ちなみに五十六年度の利用者は四百六十人でした。五十七年度はさらに多くの人たちに利用してほしいと関係者らは期待しています。

けいせいぼん

■戸籍の窓 二月（敬称略）



誕生おめでとう
ございます

（大明神）安江庄三

とよ子 彩未

（陰地）鈴木札二 春菜

禮子

（西洞）古田公平 純平

美佐子



いつまでも
おしあわせに

松岡 昭信（陰地）

熊澤 美登（付知町）

田口 眞澄（平）

杉山 峰子（白川町）

新田 文隆（加舎尾）

鈴木 結子（白川町）



おくやみ
申しあげます

今井 信二 72歳（大口）

安江 信恵 84歳（黒淵）

安江 長重 81歳（曲坂）

■善意の寄付

次のような寄付がありました

がん検診

現在本村でもがんで死亡する人が増えています。日本人に一番多いのは胃がんです。次いで肺がん、女性では子宮がんが第三位と続いています。

がんは早い時期に発見すれば治る確立は高いといわれ、早期発見、早期治療が決め手となっています。早期発見のために、胃がんと子宮がんの集団検診は毎年それぞれ一回、県の移動検診車で村内三会場を巡回しておこなっていますが、本村での受診率は胃、子宮ともに低いとい



役場前で 昨年の胃がん検診

う現状です。

とくに働き盛りで、がん年齢といわれる四十歳代、五十歳代の人たちが、年に一度のこのチャンスを利用して利用されることが望まれます。

老人の健康

本村では六十五歳以上のお年寄りが全体に占める割合、つまり老人人口が一七%を超え、全国平均をはるかにしのいでいます。ですから、老人の健康保持がより大切なこととなってきます。

健康を守るための諸施策としては、成人病検診をはじめ老人

丈夫な赤ちゃんを生み育てる

妊婦と貧血

本村の母子健康センターを訪れる妊婦の中で、今一番問題となっているのは母子ともに悪影響を与える妊婦貧血です。

妊婦貧血をなくすためには、個々の認識による食事などの注意が一番大切です。丈夫で元気な赤ちゃんを生むために、また自分の健康を守るためにも貧血にならないように努力してほしいものです。

クラブでの健康相談などがあります。積極的にこれらを活用してほしいものです。血圧値などはみなさんのお手もとへ届けてあります健康手帳に記入されま

す。妊娠中から栄養などに十分気をつけることが大切です。また、生えてからはおやつとの与え方、歯みがきなど、早い時期からむし歯にならないように注意しなければなりません。

むし歯予防をより効果的にすすめるため、村では歯科医のご協力を得て妊婦学級、母親学級での講話や、フッソ塗布などを実施しています。

乳児相談

満三〜五か月児を対象とした乳児相談を開いています。

生後五か月までにほとんどのこどもの首がすわるため、異常の早期発見の一つの目安として、また、離乳食などの育児指導がおもな内容です。

健康診査

こどもの健やかな成長と異常の早期発見を目標に、一、二、三歳児の各年齢ごとに健康診査を実施しています。

二歳児、三歳児期は歯科予防の面で大切なときであるため、内科の診察と併せて歯科診察を実施するほか、育児に関する相談をおこなうことになっていきます。対象者全員が受けられるようおすすめます。

むし歯予防

むし歯予防は、赤ちゃんの歯が生えてからではもう遅いので

た。それぞれのご意志にそって活用させていただきます。ありがとうございました。

〔教育施設指定〕

現金二十万円—今井恒行（大口）

〔社会福祉施設指定〕

現金十五万円—安江守夫（曲坂）

〔公民館図書室へ〕

- 図書十一冊—伊藤美枝（平）
- 同一冊—藤井茂樹（加舎尾）
- 同一冊—安江和吉（西洞）
- 同一冊—村瀬すみえ（平）
- 同一冊—村瀬いつえ（平）
- 同四冊—安江恒一（名古屋市）

■受講生募集のお知らせ

土岐総合高等職業訓練校

雇用促進事業団・土岐総合高等職業訓練校では、新規学校卒業者、離職者を対象とした職業訓練をはじめ、現に生産現場で働いている技能労働者を対象とした技能の補習と向上を図るための向上訓練を受けたという人を募集しています。

土、日曜や夜間の実技をはじめ、通信制訓練もあります。詳しいことは同校（☎05725④3161）へおたずねください。

4月6日 → 15日

春の全国交通安全運動

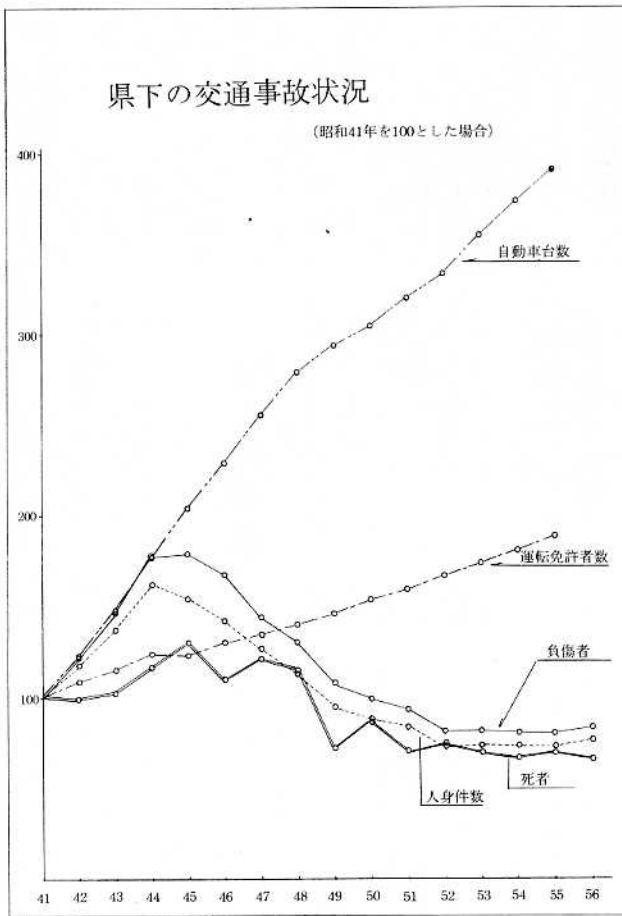
ルールとマナーの習慣づけ目標に

ことしも四月六日から十五日まで、春の全国交通安全運動がおこなわれます。今回の運動は、すべての人が正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけていただくことを目標に▽歩行者、とくにこどもの交通事故防止▽自転車および原動機付自転車の安全利用の促進▽安全運転の確保、とくに無謀運転の防止——の三項目を重点に展開されます。

県下の人身事故 昨年同期より増加

全国の交通事故による死者数は、昭和四十六年以降年々減り

はおおむねピーク時の半分になりましたが、交通事故の発生件数と負傷者数は近年増える傾向にあり、死者数は年間六十万人を超えています。県下でもグラフに示すとおり



五十六年は死者は減っていますが、人身事故の件数、負傷者数は増えています。とくに、ことしの二月末の県下の状況は、人身件数七百八十三件、死者は二十九人、負傷者千九十八人で、昨年同期の七百四十四件、二十人、千七十三人のそれぞれを上回っています。

グラフでは自動車台数、運転免許者数が大きく伸びていますが、人身件数、死者、負傷者は横ばいの状態で、交通安全に対する認識が高まってきているという見方もできますが、一方では、車両台数の増加、運転免許者の増加による事故の多発が予想されます。

期間中は村でも、保育園、小中学校へ新入園児や新入学児童生徒たちが通園、通学を始めることから、交通安全補導員や交通安全ママ、交通安全協会員らが街頭補導などを実施し、交通安全を呼びかけることになっていきます。

原動機付自転車は必ず保険に加入を

最近、若い人たちが女性を中心にミニ・バイクをはじめとして原動機付自転車がたいへんなブームとなっています。運転操作が比較的簡単なこと

と運転免許が取りやすいことから、保有台数や運転免許取得者が増加しています。

- ▽法定速度を守ろう
- ▽交差点では一時停止や徐行するなど、十分注意する
- ▽道路の左側の端を走る
- ▽ほかの車から見えやすいところを走る
- ▽ヘルメットをかぶる
- ▽常に点検整備する

ところで、村内にはこの二月末で五百七十台の原動機付自転車がありますが、強制保険に加入しているのは六割弱の三百三十台余りしかありません。

無保険のまま運行することのないよう、必ず保険に加入してください。

目だったレベルの向上

第九回村民親ぼく剣道大会

約百人が参加し熱戦

ことしで九回目を迎えた村民親ぼく剣道大会は、二月二十一日、中学校体育館で開かれました。ことしの大会には有段者から初心者まで約百人の選手が参加しました。

年剣道クラブが昨年発足しており、これまでの大会以上にレベルの高さが目だった大会になりました。当日の各部門の成績は次のとおりです。(敬称略)

小学生、中学生、高校・一般など五つの部に分かれてリーグ戦とトーナメント戦がおこなわれ、各部門ごとに白熱した試合が展開されました。とくに、小学生で組織する少

『小学校の部』①島倉宏充②安江嘉久③桂川伸
『中学生初心者部』①安江克典②有田純也③松岡正道
『中学剣道部男子の部』①伊藤一成②桂川辰也③桂川伊織④



五加保育園でミニマラソン

2月25日、五加保育園でミニマラソン大会がおこなわれました=写真。コースは、保育園の隣りにある五加運動場とその周囲の道路。年少児と未満児は約200名、年中児は約400名、そして年長児は約500名と、3つのグループに分かれて走りました。

苦しくなって泣きながらゴールインするチビっ子もいましたが、保育参観で集まったお母さんたちの声援を受けて、18人全員が元気に完走しました。



白熱した試合が展開された村民親ぼく剣道大会
中学校体育館で

佐藤克行
『中学剣道部女子の部』①安江則子②今井早百合③若井佳子
④栗本美恵子
『高校・一般の部』①佐橋正典②安江るみ



蚕業体験発表会で優秀賞 脱サラの安江敏治さん

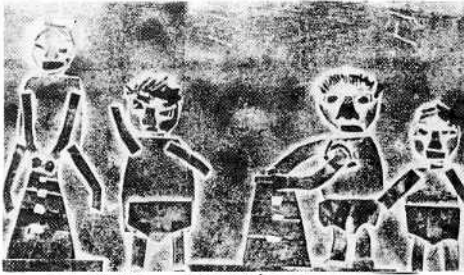


意見発表する安江敏治さん
東京・家の光会館で

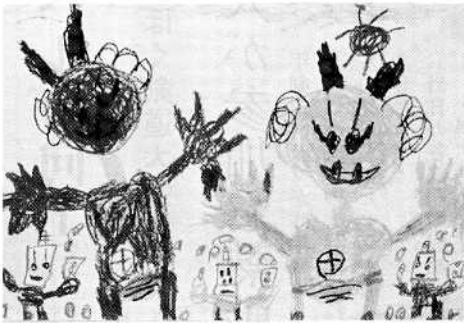
去る二月二十五日、東京で第二十六回全国蚕業青年・養蚕婦人体験発表会がおこなわれ、本村の安江敏治さん(23日日向)が岐阜県代表として体験発表し、みごと優秀賞を受賞されました。この発表会へは、本村から過去に三人が選ばれて出ており今回が四人目です。安江さんは、昨年三月末で役場を退職、家業の養蚕を主体とする農業の道に歩まれました。そして村の蚕業グリーンクラブに入り、稚蚕飼育所の専従者として養蚕に関する技術を身につけ、夏蚕に二箱を自分の力だけで飼育することに成功されました。

体験発表会では、脱サラから約一年、安江さんが体験した蚕(かいこ)を飼うことを通じての喜びや苦しさ、またグリーンクラブでの活動と実績など、農業後継者としての力強い決意が述べられ、全国各地から集まった人たちに感動を与え優秀賞を獲得されたわけです。農業経験の浅い安江さんにとってこれからはほんとうの勝負といえますが、持ち前のファイトと明るく陽気な性格で、待ち受ける苦難を乗り越えて次代を担う養蚕後継者として大きく育ってほしいよと、関係者の期待も大きいようです。

みんなの作品



「とびぼこ」 渡辺敦志 (東白川小2年)

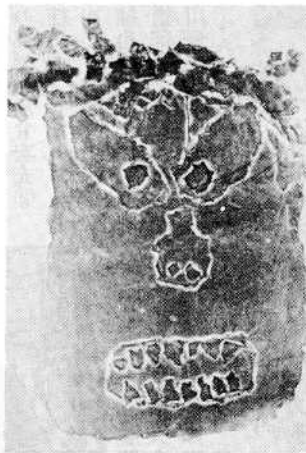
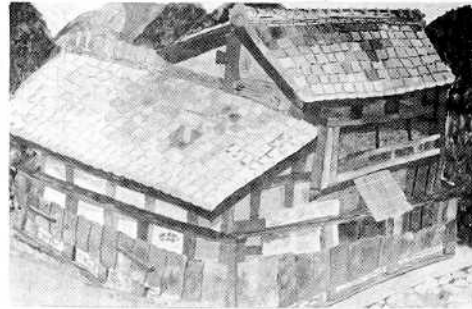


山口孝一郎 (神土保育園)



小池健明 (神土保育園)

安江利光 (東白川中2年)



「ぼくのおこった顔」
三尾満広 (東白川小1年)



「仕事をしている人」
今井恵美子・山口あゆみ (東白川小6年)

絵画・書道・版画



絵の 作品

あなたの作品
をお寄せくださ
い。
・初心者、とく
に若い人たちの
投稿を歓迎
します。
・毎月末までに、
神土田口良三
宛に出してく
ださい。

○冬山の朴の裸木眼に立ちて束の間なれど残照に映ゆ

田口 巽午

○長男の嫁定まりて亡き妻の遺影に告ぐる悲喜の思ひに

安江 香

凍てつきしホースに湯をかけやうやくに水の音きく時の嬉しさ

安江 幸

寒明けも一入冷ゆる夜の更を孤り静かに歌を詠むなり

加藤 公一

○ひと時の茶香み話の聲がまた釘打つ音に変わりて雪降る

田口 圭二

冷え込みて凍てし夜更を恋猫がはげしくおらび友と争ふ

三戸 きり

○肉親を探す残留孤児の記事読みつ吾が引揚の苦難を憶ふ

安江と志江

尋ね来し故国に今は肉親の影だに見えず幸うすき孤児ら

小池 弘子

ひさびさに山を休みし雪の朝夫は新聞の隅まで読みぬ

山口とみゑ

○一夜にて太りし川の水の音やさしかりけり淡き濁りも

伊藤 重雄

色褪せし茶色の白菜小柄にて寒き島に立ちて残れる

今井 惣十

二年生の孫の書きたる子の手紙一字一字をていねいに書く

小池いちの

数へ待ちしアマゴ解禁昨日今日川場を目守る友の憎けれ

安江 守平

捨て置きし残飯漁りし脱毛の狸がおぼおぼ茶畑へ消ゆる

安江 澄

季過ぎし鉢の葉牡丹ちやほが来て日毎ついでむ緑葉だけ

田口しのぶ

百姓でだけでは食へぬと生命の母なる土ぞ大切にせむ

山川 洌

三代を生き経て覚めし心処に危ぶむことも言ひがたきかな

田口 良三

郷土の民俗



—村誌編さん室だより

仕事着と普段着 その三

甲掛け（甲掛足袋ともいう）

は足の甲を保護するもので、普通の足袋と違って底がなく、わらじを履くときのみに使われた。多くははばきと対に用いられた。

足袋はつま先が親指とほかの指との二つに割れているのが特徴で、古くはひもを使って足首に結んで履いたが、後にコハゼを使ったものが一般的となった。足袋は被服の中では最も消耗

がはげしく、自家製足袋のころはそれらのつくろいがたいへんで、主婦にとって大きな負担となった。

足袋の大きさを示す単位を文（もん）と呼んだ。文の大きさは江戸時代の一文銭の直径（約

二・四センチ）を表わし、例えば五文とは一文銭を五つ並べた長さであった。（おわり）

村誌通史編 もうすぐ発刊

史、資料の収集から八年、本村の歩みを集大成した新修東白川村誌は、一昨年の史料編に続き通史編が発刊されようとして

います。昨年暮れに組長さんを通じてお知らせしたパンフレットのようにつかした、堅苦しさはありません。写真や図、表もふんだんに盛り込んであります。

そして、通史編は史料編と一

対の組でこそその値打ちがあるともいえます。

史料編は発刊した千百部のうち残りあと十冊ほどですが、「史料編はむつかしすぎる」という声が開かれたこともあって通史編への関心は今一つ低いよう、二月末の予約申し込みの状況は、村内で史料編の六割程度となっております。

通史編発刊は当初予定より若干遅れており、出来上がりが三月末、みなさんのお手もとへは四月上旬くらいになる見込みです。すからよろしくお願いします。

なお、予約申し込みの期限は過ぎていますが、まだ残部がありますので、ぜひこの機会にお求めいただきますようお願いいたします。



1980 アイコ16歳

堀田あけみ

著者は高校1年生で、この本は文芸賞新人賞受賞作です。

愛知県生まれで、方言の会話が名古屋弁のため親しみを感じます。

高校生の生活の中で、友人関係、教師、親をめぐって、あこがれ、恋愛感情、しっと、自己嫌疑と、揺れる16歳の心をすなおに表現しています。小説の中の言葉使いや、行動に考えさせられる点もありますが、なまなましく、自分の行動の間違いに気づいたとき、あっさり新しい方向を見つけていく生き方は、学生のもつ若さの特権のようです。大人への成長の過程ではないでしょうか。

若さあふれる生き生きとした作品を、学習のかたわら精力的に書き上げていく努力に感心します。（田）

▽今月の料理△



マカロニキヤラメル

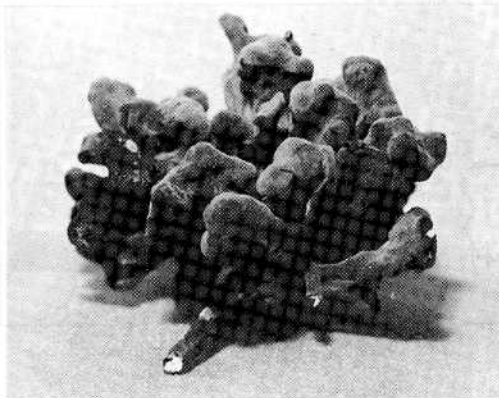
【材料】マカロニ五十号、砂糖二百号、水一茗、水あめ

大きじ二、バター大きじ一、コーンフレイクス大きじ五

【作り方】①一八〇度に熱した油でマカロニを揚げ、アルミハクの上に六〜七個ずつまとめておきます②なべに砂糖、水、水あめを入れて煮つめ、色がついてきたらなべを回してキヤラメル色になるまで煮つめ、バターを入れて溶かします③すぐに②を①の上に少しづつ流して丸型に整え、コーンをのせます。

梅酒ソーダ（二人分）

ガラス二個を用意し、梅酒大きじ二杯を注ぎ分け、サイダーまたは炭酸水を適量に加えます。氷片を浮かせ、梅酒漬けの実を一個ずつように刺して、ガラスの縁にそえてすすめます。



五倍子って何？

黒淵地内で見つかる

このほど、五倍子（ごばいし）と呼ばれるめずらしいもの=写真=が黒淵の熊沢孝三さんから届けられました。

早速調べたところ、これは付子（ふし）ともいい、ヌルデという木がヌルデノミミアブラムシの刺傷によりできるもの。成分は50～70%がタンニン。薬用としてタンニン酸、五倍子チンキの製造原料となるほか、工業的には染料やインキの製造原料となるそうです。

国内産出量は日本の需要の10%以下で瀬戸内海沿岸がおもな産地です。このことから本村の黒淵地内の山林で見つかったこの五倍子がいかにもめずらしいかおわかりいただけると思います。



田口 明日香(あすか)ちゃん
55, 9, 25生まれ
平 田口邦久・晴美さんの長女

すくすく育て

編集後記

寒かった冬が去って、野山もすっかり春らしくなってきました。暖かな春の日射しの中で、野良仕事をする人たちの姿が日増しに多くなっているようです。本号では、五十七年度から本格的実施される県営畑総事業にスポットを当ててみました。この事業は家庭、地区、村全体とその輪が広がり、一つになつてこそ実現できるものです。夕食後の家族だんらんのひとつときなど、家族ぐるみで話し合ってみてください。

暮らしのカレンダー

※小・中学校入学式・始業式

・とき 4月6日
—小学校新入学児は31人、中学校へは63人が入学します。

※春の全国交通安全運動

・とき 4月6日～15日
—新入学期を迎え小さな子どもたちが、保育園や学校へ通います。ドライバーのみならず、子どもを見たら徐行するなど、十分注意してください。

※ツベルクリン反応とBCG接種

・とき ツ 反～4月7日
BCG～4月9日
・ところ 東白川病院
・対象者 生後6～12か月児

※献 血

・とき、ところ
4月21日 { 五加公民館前
(10:45～11:15)
役 場 前
(12:00～13:30)
旧越原小上校舎
(14:00～15:00)
・対象者 満16～64歳までの健康な人。
—採血の前に、医師が血圧測定や血液比重検査などをし、無理な採血はしません。より多くの方のご協力をお願いします。
今回は9月1日の予定です。

※三種混合予防接種(第1回)

・とき 4月22日
13:30～14:00 (受付)
・ところ 東白川病院
・対象者 853.4.2～55.3.31 生まれの未接種者と追加。

※健康相談日

・とき 4月23日
9:00～16:00
・ところ 村民センター2階ロビー
—村の保健婦が相談に応じます。お気軽にご利用ください。

※消防団春季訓練

・とき 4月25日
・ところ 総合運動場
—全団員の出勤をお願いします。